



題字 小川 東州

JAICO 社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地ホワイトビル3階
TEL 011-209-7000 FAX 011-209-7011
ホームページ <http://www.do-counselor.jp>

北海道支部総会

平成24年6月23日(土) 札幌サンプラザにおいて「第9回 平成24年度(社)日本産業カウンセラー協会北海道支部総会」が開催されました。本部から原副会長、桑原理事をお迎えし、たくさんの会員の皆様にも出席をしていただき、滞りなく北海道支部総会が無事に終了しましたことをここにご報告いたします。

■ 第一部

開会にあたり、北海道支部 永井義信支部長より

「50年を超える歴史と経験の重みを感じながら、理念である「循環型組織」をより効率的に時代の要求にすばやく対応できるよう幹部・会員のみならずと支部運営に携わってまいりました。社会の高度で多様な要請に対応するためにレベルアップを図ってきた結果、外部からの信頼も勝ち得て、行政や民間からの受託・委託もあります。

世界は変革の時代を迎えております。働く者には益々厳しい状況が続きます。平成24年度は一般社団法人化に向けたスタートの年です。北海道支部は、地域に今まで以上に「なくてはならない存在」になるためのまさに正念場です。会員皆様のご支援・ご協力をいただきながら、さらによりよい支部活動をしていきたい。」とご挨拶がありました。

原 康長副会長より

「メンタルヘルス対策支援センターは24年度は北海道だけが当協会受託(落札)できた。北海道にきて、7箇所ほどの団体を訪問してきたが、「北海道内でメンタルヘルスやキャリアに頑張っている。」という賛同の声を聞き嬉しく思っている。広い北海道の各地で研修を実施しカウンセラーの活動が定着しつつあると感じました。北海道がこのよい活動をする事によって、他の地域にも認知が広がるよう引き続き頑張りたい。」とお言葉をいただきました。

桑原富美恵理事より

「平成16年3月の組織変更により、北海道は最後に「支部」としてスタートしました。平成15年に「生きる」と働くことをテーマとし北海道の働く方々にどのようなお手伝いができるのか?また、私達も豊かな人生を歩みたいという思いで今日まで来ています。メンタルヘルス対策支援センターもよい評価をいただき、次年度も引き続きセンターを受託することが出来ました。このあとも社会的認知と役割を会員皆様の力で、もっともっと拡大していかなければと思っております。」とご挨拶をいただきました。

■ 第二部

司会の内山養成講座副部長より定員数の確認が行われ、平成24年3月末の登録会員数535名のうち、総会出席者39名、委任状提出者282名の計321名が出席となり、支部規定16条に基づき正会員数の過半数の出席が確認され総会成立の報告がなされました。

続いて山村副支部長より、平成24年5月26・27日に開催された全国大会(本部総会)の報告がありました。

安藤会長のご挨拶の中に「厚生労働省委託事業「こころの耳」のことに触れ、6万回もの検索履歴があったということや、北海道支部受託の「メンタルヘルス対策支援センター」も紹介され「働くひとのそばで活動をしている」ことが協会の活動として認知されている。働く人のそばにいるからこそ、できることがあるという意味を感じた。」とお話がありました。

また、総会では代議員と委任状で314名の出席があり、1号から7号までの議案が1つ1つ丁寧に審議され、いくつかの質問や提案はありましたが、ほぼ満場一致で承認されましたとの報告がありました。

支部規定15条に基づき、議長に永井支部長が就任し総会が開始。

議事録署名人には、堀 淳博さん、諏訪田綾子さんの2名が指名されました。

はじめに、平成23年度の事業報告と収支決算報告(第42回通常総会にて承認済)が山村副支部長と佐久間総務部長よりありました。

今回から決算報告の様式が本部と同様「正味財産増減計算書」となったことの説明がありました。これは企業会計の「損益計算書」にあたります。

監事の十川さん、福本さんより「4月11日に帳簿類を科目ごとに取り引状況を精査し、内容は適正に処理されていると認められました。」と監査報告が行われました。

続いて支部規定第36条の2に基づき議案審議に移りました。

● 第1号議案:平成24年事業計画(案)及び収支予算(案)が提示され、拍手によって承認されました。

予算についても積極的に質問やご意見・ご提案がありました。

また会員ひとりひとりが企業にアプローチすることで、もっと支部活動の認知度があがるのではないかと幹部に任せるだけでなく、各会員ひとりひとりが「広報」になって活動することで多くの企業に知ってもらえるのではないかと心強い言葉もありました。

■ 第三部

原 康長副会長による講演

「時代の変化と私たちの課題～歴史と経験を活かし、展望を語る組織へ～」

50年という歴史を経て活動の広がりが見えているが、次の新しい50年に向けてどうするのか どうするべきなのかを「社会が求める役割への対応」～カウンセラーの育成のあり方や、何が私たちにもとめられているかなど5月26日の全国大会でのシンポジウムでのパネリストの方のお話を交えて熱くお話をいただきました。

特に自殺予防の取り組みをなさっている方からカウンセラーに

「聴くことは訓練できているが、聴くだけでいいのか?」との言葉があった。

その方は自殺を考えて思いとどまった人が新しい人生を生きていくところを見届けるところまで一緒になって考えていくと定義をしているとのことでした。

私たちが培った力を社会に認知・活躍の場を広げていくためには、いろいろな視点が必要とされている。「産業カウンセラー」は「産業」だけではなく、「地域」で力を発揮するのも役割として大事になってくるのではないかとこれからの課題をお話してくださいました。

これからの私たちの進む方向、協会として支部としてカウンセラーとして、参加のみなさまにはきっと何か感じるものがあったのではないのでしょうか。

昨年の総会でご要望があった「懇親会」を今年は総会終了後に実施することにいたしました。沢山の方に出席を頂き、久しぶりに会う養成講座仲間、又は初めて顔を合わせた会員同士といった中で、用意した部屋が狭く感じられる程の熱気で話に花が咲いていました。

ぜひ、次回の総会にはさらに多くの会員の皆様にご出席いただいて、直接、ご意見やご要望を伺いたいと思います。

2012年産業カウンセリング in 千葉 第42回全国研究大会に参加して

平成24年5月26日、27日の両日にわたり、千葉にて全国研究大会が開催されました。



5月26日(土)千葉県文化会館にて

○第42回 通常総会

- 第1号議案 定款変更(従たる事務所移転関係)
- 第2号議案 定款変更(一般社団法人移行関係)
- 第3号議案 公益目的支出計画に関する決議
- 第4号議案 総会の議事運営等に関する規定承認の件
- 第5号議案 平成23年度 事業報告及び決算承認の件
- 第6号議案 平成24年度 事業計画及び予算承認の件
- 第7号議案 協会SR(私たちの宣言)の決定の件

以上7つの議案を丁寧に審議、代議員等からのそれぞれの立ち位置からの質問がありこれからの協会のあり方、方向性を明確にできた総会となりました。

そのあとシンポジウムに入り

○シンポジウムA あなたのその行動が会社をかえる

～コミュニケーションで生まれ変わる組織風土～

北海道支部でも大変お世話になっています、神奈川大学教授、日本産業カウンセリング学会名誉会長 桐村 晋次先生から将来は「今」を出発点として出来上がっていくものであり、今の日本の困難に対しては「今」を生きる私たちが困難に立ち向かっていくことが必要である等のお話があり、シンポジストとの討論になりました。

5月27日(日)は京葉銀行文化プラザにおいて

○シンポジウムB これからの「有縁社会」をつくろう 第1部—地域社会の絆を考える—

○シンポジウムC これからの「有縁社会」をつくろう 第2部—震災復興 あれから1年—

有縁社会づくりへの実践活動

同時並行にて「企業分野における産業カウンセラーの役割」など8つの分科会に分かれそれぞれの分科会で意義深い実践活動等の報告、それに対する議論が活発に行われました。

又、26日(土)に行われました、交流会では、久しぶりにお会いする旧友又、支部仲間でありながら北海道ではなかなかお目にかかれない若き日の勉強仲間、大変お世話になりましたホスト支部会員の皆様との懇談など、おいしい料理を肴に時間を忘れて千葉の夜を堪能させていただきました。

尚、シンポジウムA,B,CのDVDが支部に届いています。平日でしたら会員の皆様にご覧いただくことが可能です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

来年は四国松山での開催です。支部会員の皆様、来年は団体で松山、坊ちゃんを訪ねて第43回全国研究大会に参加しましょう。



認知行動療法の「概論」および 「ステップアップ研修」を受講して

私は、人間関係の希薄化により心の教育の充実と言われはじめた平成10年より父母と教師の会役員として学校現場に関わり、予防的・開発的カウンセリングのひとつである日本学校教育相談学会より分会した日本ピア・ピアサポート学会の「ピア・サポート」の普及に微力ながら努めています。この中にも傾聴・コミュニケーションスキルがあり、去年は協会養成講座の面接実習で傾聴の奥の深さを実感することができました。

今年は、医療大学の坂野先生の認知行動療法について理解を深めたく、6月3日に会員研修の認知行動療法の「概論」および「ステップアップ研修」を受講しました。

講座では、坂野先生のスライドは色使いや要点が見やすく、「推論で語ることなく事実に基づいて物事を考える」ことの大切さ、スモールステップの原理やソクラテス対応などを豊富な経験と知識にもとづく具体例とにより、とてもわかりやすく理解することができました。まだ、受講されていない方には機会があれば是非受講されることをおすすめしたい会員研修でした。

(田中 博)



2012年度 キャリア・コンサルタント講座 CC講座(B)を受講して

CC講座(B)はロールプレイを中心とした4日間の講座でしたが、演習を通してキャリア・コンサルタントとして必要なキャリア・コンサルティングの実施過程における基本スキルについて学びました。講座では、各々のテーマに沿ってグループワークや3人1組での演習が行われましたが、どの場面においてもメンバー一人ひとりから強い仲間意識を感じ、また、真剣にスキルを身に付けようとする強い意欲を感じることができ、そのような仲間と一緒に学べたことは、私にとって大変有意義なものとなりました。

キャリア・コンサルティングの社会的意義や役割が高まっている状況下にあって、それを担うキャリア・コンサルタントの果たすべき役割も大変重要になっています。今回の受講を通じて、キャリア・コンサルタントとしての資質の向上は不断に取り組むべき課題であることを再認識しましたが、一方で、まずは自分自身が自己理解を深め、自らのキャリア・プランを明確にすることが必要であるということも感じました。また、キャリア・コンサルタントが個人の人生にまで関わっているということを考えれば、自己研鑽を重ねていくことはもとより、自らの人間力を高めていくことも忘れてはならない課題であると認識したところです。こう考えると、キャリア・コンサルタントになるためには、クリアしなければならない課題が山積してきますね。皆さん、これからも頑張りましょう。

(金 利紀)

平成 24 年度 「メンタルヘルス公開講座」のご案内

すずらん5月号でもご案内させていただきましたが、メンタルヘルス公開講座が帯広にて開催されます。地元の方は勿論のこと、会員各位の友人、知人、会社関係の方にもぜひお声かけいただき受講されますようご案内させていただきます。

日 時 平成24年8月5日(日)13時～16時30分まで

場 所 帯広 東急イン (帯広市西1条南11-2)

演 題 「うつと自殺予防に向けた面接の実際:認知行動療法から学ぶ」
「グループワーク」

ご講演 北海道医療大学 心理科学部 教授 坂野 雄二 先生

「グループワーク」は北海道支部養成講座実技指導者がアシスタントに入ります、ご期待ください。

又、9月9日(日)は北見 ビッツアークホテルにて開催されます。

時間、ご講演、演題は帯広会場と同じです、合わせてご案内いたします。



産業医の独り言

診断書の「うつ状態」「自律神経失調症」が意味すること

メンタルヘルス不調を生じた労働者において、主治医から提出される診断書の病名欄に「うつ状態」、あるいは「自律神経失調症」などと記載されることがしばしばあります。この「うつ状態」「自律神経失調症」とは何を意味するのでしょうか？

平成24年3月、北海道医師会から発行された「一般医のためのうつ病治療ガイドライン(第3版)」では次のように解説しております。「Q. 会社に提出された診断書に『うつ状態』という記載。このような場合はどのように対応したらよいのか?」について、「『うつ状態』は通常“状態像診断”と呼ばれるもので、良きにつけ悪きにつけ、現実には多用されています。このような記載の場合には、①抑うつ状態を呈する疾患群に含まれる旨を単に総論的に記述した、②「大うつ病」以外の抑うつ状態を呈する疾患(パーソナリティ障害など)を直截に記述することがためらわれた、③横断的な状態像診断は可能だが、その時点での疾患レベルの診断が確定していない、④「大うつ病」であるが、何らかの配慮で直截に記載しない、などが考えられます。」とあります。

では「うつ状態を呈する疾患群」とは?(株)メディカルトリビューン発行の医学雑誌「CNS today 2012年2月号」で、夏目 誠氏は、診断書病名の「うつ状態」という記載に対して人事労務担当者や産業医が短絡的に「うつ病」と捉えてしまった場合、その労働者への対応が的外れな方向に進みうる危険性を指摘しております。「うつ状態」を呈する疾患として、“うつ病”、“適応障害”、“パーソナリティ障害”などを挙げ、注意を喚起しています。“うつ病”は、「こころの風邪」とも言われるため誤解されることもありますが、この表現から想像されるような簡単な病気ではなく、抗うつ薬を主に長期間の服薬を要する疾患です。また、配置転換は通常効果なく、仕事量は軽減することを考慮し、休業から職場復帰する際には、単純作業から始め、抗うつ薬は継続することが望ましいとしています。“適応障害”は、薬物治療を行う場合は抗不安薬が主となり、精神療法に加え職場環境調整が重要です。時には配置転換が著効することがあり、考慮に値する対応となります。“パーソナリティ障害”の場合は、効果的な薬剤はなく、対応としては職場に限らずいろいろな状況での環境調整が必要です。治療よりも支援が重要で、配置転換は効果なく、仕事量や残業等に関しては個々の事例で異なってきます。

「自律神経失調症」という診断名についても、前記の「一般医のためのうつ病治療ガイドライン(第3版)」で、次のように述べております。「『自律神経失調症』は精神疾患の診断名として正式なものではありません。何らかの事情(診断が確定していない場合を含む)がある場合、または何らかの配慮で使用される「精神疾患の代替の診断名」と考えられます。この場合、精神疾患の存在を暗示する用語と捉えるべきで、精神疾患の可能性を認める主治医の判断を読み取ることができます。しかし、残念ながらそれ以上の情報ではありません。」

このように、いろいろな理由により医学的に正確な病名が診断書に記載し難い場合があり、診断書病名だけでは適切な対応をすることが難しくなることがあります。そのような場合、労働者にとっても職場にとっても最善の措置を講じるためには、主治医と産業医との連携による対応を考慮することも必要です。産業医は、産業医-主治医間で情報交換することについて当該者から承諾を得た上で主治医と連絡を取り合い、本人と人事労務担当者、あるいは上司に対して適切な助言をしていくことが望まれます。

各部からお知らせ

事業推進部&相談事業部より

広報活動ボランティア募集します！
～9月10日「働く人の電話相談室」実施の街頭宣伝～

当協会では、毎年9月10日の世界自殺予防デーにあわせて「働く人の電話相談室」を実施しており、北海道支部においても、朝10時から夜10時までと、通常の電話相談よりも長時間認定カウンセラーが待機し、少しでも多くの方の心に耳を傾け、自殺予防の一役を担えればと取り組んでおります。

こうした取り組みを一般の方にも広く知っていただくために、連合北海道様のご協力のもと街頭宣伝を行います。会員の皆様にもぜひご参加ください。お待ちしております。

日 時：平成24年9月10日（月） 午前8：00～9：00の1時間程度

場 所：札幌駅前通り（集合場所は追って連絡いたします）

実施内容：自殺予防ダイヤル相談「働く人の電話相談室」のチラシ・ティッシュの配布

募集人数：若干名（10名程度）※応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

手 当 等：交通費のみ

締 切：8月22日までに、別紙「ボランティア申請書」をFAXまたは郵送ください。

F A X：011-209-7011

郵 送 先：〒060-0004

札幌市中央区北4条西7丁目1-5 札幌ホワイトビル3F

(社)日本産業カウンセラー協会 北海道支部

リラックス
タイムコラム
④8

熱中症にご用心～!!

梅雨のない北海道は、急に暑くなりましたね。ここ何年か、春から夏 夏から秋 の季節の変わり目があまり感じられなくなったように思うのは私だけでしょうか？この時期に体調を崩すのはそういう微妙なお年頃？でしょうか。

さて、いままで北海道は熱中症には縁がないと思っていましたが今年はずでに、熱中症で亡くなった方や救急搬送されたケースも多くあります。

屋外にいるときは、気をつけていても、屋内でも起きることもあります。「喉が渴いたなー」と思ったときには、すでに熱中症になっていると報道もあります。発熱、頭痛、吐き気、息苦しさ、脱力感、眠気、耳鳴りなどが主な症状のようです。

こまめな水分補給と塩分の補給、十分な休養と栄養を取って、短い北海道の夏を元気に快適に乗り切りましょう!!
また、様々なグッズもあるようですね。私は水で塗らすと冷たくなるタオルを購入してみました。これをもって大阪に乗り込んできます。

節電でエアコンの設定温度も控えめになり、冷えが苦手な方には過ごしやすいかもかもしれませんが、逆に熱中症にはご用心ください。

行事等のお知らせ

研 修

シニア研修

認知行動療法(K0121)DVD方式(5ポイント)

日 時：7月21日(土)
場 所：日本産業カウンセラー協会北海道支部 会議室(9F)
講 師：福井 至(東京家政大学教授)
定 員：30名
受講費用：10,000円
申込締切：締め切りました

職場のメンタルヘルス(K0400)DVD方式(5ポイント)

日 時：7月28日(土)
場 所：日本産業カウンセラー協会北海道支部 会議室(9F)
講 師：河野 慶三(河野慶三産業医事務所)→変更 高野
先生(神田東クリニック院長)
定 員：30名
受講費用：10,000円
申込締切：締め切りました

ストレスと心身医学(K0220)DVD方式(5ポイント)

日 時：8月11日(土)
場 所：日本産業カウンセラー協会北海道支部 会議室(9F)
講 師：山本 晴義(横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセ
ンター長)
定 員：30名
受講費用：10,000円
申込締切：締め切りました

論理療法(K0124)DVD方式(5ポイント)

日 時：8月12日(日)
場 所：日本産業カウンセラー協会北海道支部 会議室(9F)
講 師：石隈 利紀(筑波大学 教授)
定 員：30名
受講費用：10,000円
申込締切：締め切りました

交流分析(K0125)DVD方式(5ポイント)

日 時：8月25日(土)
場 所：日本産業カウンセラー協会北海道支部 会議室(9F)
講 師：繁田 千恵(TA心理研究所 所長)
定 員：30名
受講費用：10,000円
申込締切：7月25日(水)

キャリアカウンセリング(M0300)DVD方式(5ポイント)

日 時：8月26日(日)
場 所：日本産業カウンセラー協会北海道支部 会議室(9F)
講 師：桐村 晋次(神奈川大学特別招聘教授)
定 員：30名
受講費用：10,000円
申込締切：7月26日(木)

会員研修

認知行動療法 概論 釧路市(3ポイント)

日 時：10月7日(日)9:30~12:00(2.5時間)
場 所：釧路市民文化会館 釧路市治水町12番10号 Tel.0154-24-5005
講 師：坂野 雄二(北海道医療大学教授)
定 員：20名
受講費用：2,500円
申込締切：9月28日(金)

認知行動療法 ステップアップ研修 釧路市(3ポイント)

日 時：10月7日(日)13:00~15:30(2.5時間)
場 所：釧路市民文化会館 釧路市治水町12番10号 Tel.0154-24-5005
講 師：坂野 雄二(北海道医療大学教授)
定 員：20名
受講費用：2,500円
申込締切：9月28日(金)

【初回面接の方法と見立て - 力ある産業カウンセラーを目指して】(5ポイント)

日 程：8月18日(土)9:30~16:30(6時間)
場 所：かでの2.7(1050研修室)
講 師：清水信介(北星学園大学教授)
定 員：40名
受講費用：6,000円
申込締切：8月13日(月)

帯広市「治療的面接の進め方」(5ポイント)

日 程：9月30日(日)10:00~15:00(4時間)
場 所：とちがちプラザ(講習室403)
講 師：清水信介(北星学園大学教授)
定 員：20名
受講費用：4,000円
申込締切：9月24日(月)

札幌市「ゲシュタルト入門講座」(3ポイント)

日 程：8月24日(金)18:30~20:30(2時間)
場 所：かでの2.7(1040研修室)
講 師：田中千恵子(有限会社ソーシャルスキル・アカデミー代表取締役)
定 員：40名
受講費用：2,000円
申込締切：8月17日(金)

札幌市「カウンセリングと交流分析」(3ポイント)

日 程：10月27日(土)9:00~12:00(3時間)
場 所：日本産業カウンセラー協会北海道支部会議室(9階)
講 師：久村正也(札幌心身医療研究所所長)
定 員：40名
受講費用：3,000円
申込締切：10月19日(金)

特別研修

「カウンセラーとアサーション フォローアップ研修」(3ポイント)

日 程：8月19日(日)17:30~19:30(2時間)
場 所：札幌サンプラザ(玉葉の間)
講 師：平木典子(統合的心理療法研究所(IPI)所長)
定 員：60名
受講費用：会 員：3,000円(24年度養成講座受講生：1,500円)
非会員：5,000円
申込締切：8月10日(金)

研修申込先 (社)日本産業カウンセラー協会北海道支部
札幌市中央区北4条西7丁目1番地5 札幌ホワイトビル3階
電話：011-209-7000 FAX：011-209-7011

振 込 先 郵便振替 02700-9-1731 (社)日本産業カウンセラー協会北海道支部